

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	《橋りょう維持補修事業》						担当部	都市建設部	
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	道路課		
	事業期間	平成12年度以前 ~ 平成30年度以降			担当係	維持係				
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤 23 道路		3 橋りょうの計画的な管理を進める					
		副目的								
	予算区分	款	8	項	2	目	4	大	3	中
	根拠法令・個別計画	道路法								
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	橋りょうの長寿命化修繕計画の策定など、計画的な維持管理を進め、橋りょう管理コストを縮減するとともに、安全性を向上させる。また、耐震設計を行い、耐震工事を行うことにより、震災時の緊急輸送、避難のための道路網を確保する。								
内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期点検委託により橋りょうの現状を把握し、計画的な補修・耐震補強工事を行った。 職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】</p> <p>測量設計業務委託 5橋 (委託料: 9,034千円) 神田橋、入会橋、高瀬橋、御幸橋、無名橋(桃花台第4橋) 橋りょう現況調査委託業務委託 60橋 (委託料: 10,373千円) 橋りょう清掃業務委託 1件 (委託料: 929千円)</p> <p>【工事内容】</p> <p>橋りょう耐震補修工事 2橋 (工事請負費: 27,209千円) 大耕橋、常普請上橋 橋りょう補修工事 1橋 (工事請負費: 21,816千円) 井領橋</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】</p> <p>測量設計業務委託 5橋 (委託料: 12,500千円) 大坪橋、立野橋、新安戸橋、郷前橋、水屋橋 橋りょう長寿命化修繕計画作成委託 90橋 (委託料: 3,700千円) 橋りょう現況調査委託業務委託 50橋 (委託料: 9,300千円) 橋りょう清掃業務委託 1件 (委託料: 1,200千円)</p> <p>【工事内容】</p> <p>橋りょう耐震補修工事 2橋 (工事請負費: 76,300千円) 神田橋、入会橋 橋りょう補修工事 1橋 (工事請負費: 23,600千円) 高瀬橋、中池橋外2橋</p>									
受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	65,638	50,733	69,361	126,600	
		正職員	従事者数	人	0.85	0.85	0.95	1.00
			人件費	千円	4,530	4,530	5,063	5,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	70,168	55,263	74,424	131,930		
	対前年比	%		78.7	134.6	177.2		
財源	一般財源	千円	61,450	44,477	60,124	97,830		
	国・県支出金	千円	8,718	10,786	14,300	34,100		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	橋りょう定期点検の実施箇所	橋	目標	40	40	50
実績				44	41	60	
耐震補修工事実施橋梁		橋	目標	2	3	3	
			実績	3	3	3	
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
橋りょう定期点検の実施箇所の割合	%	目標	25	33	43	55	
		実績	25	33	45		
累積耐震工事実施橋梁	橋	目標	41	44	47	50	
		実績	42	45	48		

事業の自己評価	平成24年度の事業の達成状況	橋りょう長寿命化計画を策定するために必要となる、橋りょう定期点検を進め、災害時の緊急輸送、避難路を確保するために計画的に耐震及び補修工事を実施している。また、通常時の交通利便性・交通安全性の向上も図られている。		
	事業実施における課題	橋りょう定期点検において、耐震及び補修が必要と判定された橋において、耐震・補修工事が追いついていない。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	橋は震災時の緊急輸送、避難のための道路網など、住民活動を営む上で重要な施設である。適切な点検に基づいた補修を行う必要があるため、廃止をすればこれらの機能を果たせなくなる。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	小牧市の管理する道路橋508橋の内、主要幹線道路に架かる重要橋梁90橋を橋りょう定期点検の点検結果を基に、橋りょう長寿命化修繕計画を策定する。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	継続的に橋りょう定期点検を進め、また、計画的に耐震及び補修工事を行うことにより、災害時の緊急輸送、避難路を確保することができることとなるため、今後も現状のとおりに継続的に事業を実施する必要がある。		
	26年度以降の改善案	26年度は現状のとおりに継続して事業を実施する。また、27年度以降、国策事業として、国からの補助金を充当し、市負担の事業費を抑えながら、橋りょう長寿命化修繕計画を基に補修工事を実施する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおりに。本年度策定する「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、計画的に修繕を実施すること。平成27年度以降については、国庫補助金等を活用し、一般財源を抑えること。